

23/11/17 第2回名古屋市障害者施策推進協議会
名古屋市民オンブズマンによるメモ

13:30

障害福祉課長：大脇 始める

会議公開 傍聴者 4名

定数 20名のところ 18名出席

高森、手嶋らは欠席

6月3日以降委員の変更 白木委員に

座席表配布

平松健康福祉局長：こんにちは

5月から基本計画専門部会、福祉計画専門部会

計6回行ったと聞いている

全国組織研究会シンポに参加

障害福祉サービスの質の確保

10年前障害福祉課長 サービスが足りていない 施設が足りていない

各種サービス 数多く いろんな種別増えてきた

当事者の思いにこたえる事業、サービスになってきた

ご家族、当事者を考えて事業、団体ができた

行政 質の確保を認識

共生社会とは何か 人権確保、個性尊重

名古屋城バリアフリー市民討論会における差別事案検証委員会 開いている

報告する

ご支援、ご協力を

大脇：健康福祉局長は他の公務があるので退席する

瀧会長に進行を任せる

瀧：進行にご協力を

16時まで予定 超えることも

報道機関もいる カメラ抵抗ある人がいれば

→報道機関はいない

1 事務局から説明を

資料1 1部2部 意見交換

第3 意見交換

資料2 意見交換

13:39

障害係長 宮地：説明する

別冊3 ページ 6/3 事案明記

概要版15 ページ 3 差別の解消、虐待防止及び権利擁護の推進

別冊33 ページ 6/3 事案明記

13:52

瀧：意見交換

基本計画 専門部会 柏原先生から意見を

柏原：細かい説明は頂いた

大きな流れ 論点

差別に関すること どういう方向で計画策定 普段より時間をかけて

第1章にもある お互いに人格・個性を尊重しながら

拡大ニーズに対して量を拡大するか

量的サービス拡大だいぶん進んできた

多様なニーズにどう対応するか 質

保育、教育、住宅

他の分野とどう関連していくか

計画策定したからといって、他の分野とどうするか

大筋合意に至った

差別の解消に向けた市としての取り組み どうすべきか

合意されないと計画作っていいのか？

瀧：計画策定 進んでいく中で修正することを確認

質問、意見は

13:58

入谷：名古屋城バリアフリー 3 ページ、33 ページ

もっと書いた方がいいという議論もあった

なにかシステムづくり こういう職員がしていく

意識が社会に向けて変わっていかねばいけない

文言ではない気がする

「車いすの方が」市民として差別を受けた

障害があるから差別を受けたんだ、ととれる

瀧：「市民が差別された」が抜けている

入谷：社会に対してどうアピールするか

瀧：課題とご意見

濱田：説明いただいた 概要版、本体

あっち見てこっち見て大変

概要版 詳しくは何ページ あればいい

全体的にない

見比べる人がどれくらいいるかわからない

瀧：表示 パブコメする 工夫できるか

笹川：素案 フリガナがない 概要版 フリガナがある

違いは何か

宮地：別冊にルビがない

文字数が多い ルビがあると見にくいという意見がある

より見やすい概要版にルビをつけた

分かりやすい版を作成したい

瀧：よろしいか

樋口：概要版2ページ

総合計画「共生社会を築く」必ず入っている？

基本計画は充実 ほかの施策と結び付けられる

ページの構成を変えてしまうもの

大脇：名古屋市総合計画 市全般の方向性 概略的

相反してはいけない

障害者基本計画 障害者基本法に基づく 広げる

上下という関係ではない

樋口：大きいフレーム 名古屋市全体として持っていくべき

差別なくするため「市全体が意識を持っている」認識

大脇：総合計画にも、障害者権利、人権大切に
同じ方向を向いている

柏原：総合計画策定年 有識者メンバー
平行して反映してと発言した
広範な話 具体的な細かい話より、未来志向 政策を策定するか
各分野横断的に
人材をどう確保するか
全体の差別解消、共生社会 全体でも入っている

樋口：状況は分かった
理念、方向性を共有できるように
基本方針、計画だよ 他部局も理解して

瀧：ほかは

牛田：ヘルパーの問題
賃金が安いから減る？そうでもない
職場の人間関係、会社の理念や目的に共感できない
職場を去る大きな理由と指摘
中日新聞「看護師支援 日中だと安い 夜に入ったことにしよう」
事業所が方針として示す
従業員教育 福祉サービスを担う人 教育、啓蒙
誰が担うのか？
ポジション 看護師 看護は分かる
施設運営 聞いたことがない人
従業員教育に役に立つような働きかけ
行政の課題としてあってもいいのでは
発言修正 せっかく入ってきた人をちゃんと受け止めて
人間関係がガサガサしているとダメ

瀧：定着するにはどうすればよいかという意見

障害者支援課長：鋭い指摘
賃金 行政がかかわること 報酬 行政が国に要望する
落とし込む形で対応して
各事業者 組織内部の話 様々ある

事業者自身で考える
適正適切な仕組みを作る モデルを示す
働いていただく方が条件と望みをマッチングさせるか
事業者とも共同しながら

瀧：ほかは

斎藤：3ページ、33ページ 名古屋城

記載の仕方が納得いかない

検証委員会が立ち上がって、結果を見ながら市として考える

そういうことをなぜ書かないのか「必要がある」しか書いていない

名古屋城問題 基本計画にバリアフリーの推進をうたっている

5年前「名古屋城木造天守にはエレベーターつけない」市長発言

障害者基本計画で取り上げてほしいと」発言したが、

→市は「載せることはできない 市長の決裁が下りない」と言われた

5年間でこういった問題が起きた 恥ずべき市民討論会。

バリアフリー、差別認識 市で共有されなかった

この程度の書き方 生ぬるい 検証委員会できた

「今後は公共建築物 障害者の意見を聞く制度」 報道

名古屋城 「エレベーターつけない」市長発言後、

障害者団体と話し合いがもたれた

市長は聞く耳を持たない 理解しようとしめない

「聞く」システムを作れば再発防止できるという問題ではない

市職員は研修をしている

観光文化交流局 研修受けている・受けていない人も

受けていても問題が起きる

差別解消とバリアフリー 書き方をしっかりして

瀧：ご意見 修正可能か考えて

次に行きたい

14:23

障害者支援課：第3部

概要版

(中座)

14:52

瀧：今回は大雑把な書き方

池山：わかりにくい

瀧：ほかは

専門部会でていない 2点質問

1) 虐待相談件数載せた方がいい

数字が出されていない

施設虐待の数、概要

2) 名古屋市が支給決定 市外の事業所を利用

相当いるのではないか 実態が見えない

市として何を取り組むのか

大脇：虐待件数入っていない？ 障害者サービスとは違うため

通告、区役所が入って 数字は把握している

取り組み 市の施設は虐待指導

市外施設 指導権限がない

生命身体の危害の可能性 安全確保

権限がある自治体に指導のお願いをする

障害者支援課：虐待相談センター受付 間違え 失礼した

瀧：福祉計画、虐待 書くところがないとしても、

基本計画で根拠数字 上げる必要があるのでは

意見として聞いて

濱田：虐待の件 215ページ

障害者施設支援課：受講者数

濱田：長期目標 どう増やすのか

瀧：時間が迫ってきた ご意見 後でも受ける

パブコメを受けて修正論議

斎藤：局長のあいさつ 質の向上

計画書に量はやめませんか？質の問題いっぱいある
何が質の問題 分析されていない

瀧：大脇課長なにか

大脇：部会を通して量より質 新聞に載るような事件も起きた
質の向上は進めたい 計画は数字が目立つ
基本的な精神 質の向上を目指したい

瀧：次 資料2

15:04

障害企画課：説明する

財政福祉委員会で説明

12-1月 パブコメ

1月-2月 社会福祉審議会総会等

3月 第3回障害者施策推進協議会

15:09

瀧：なにか

総称投票お願い

次読書バリアフリー推進計画

15:10

読書バリアフリー推進計画

15:16

瀧：質問は

入谷：書籍は図書館の本？

週刊誌とか、情報誌 そういうものは入っているのか？

私は本をあまり読まない

まんが 入ってくるといいな

大脇：書籍は、いわゆる本屋の本だけではなく、活字すべて

おっしゃったものすべて含まれる

まだ、そういったいろんな情報 見やすいように提供

数が少ない

アクセスブルな書籍 増やしたい

全国の点字図書館 点訳、音声データ 電子書籍 集積してある

情報誌も含まれる 数は少ないが

笹川：対象者3つ 明確

法律、条令の対象 もう少し柔軟な対象

3つしかない？

名古屋市推進計画 84 ページ

79 ページ 3つ以外にも

もう少し柔軟な表現をしては

瀧：いかがか

大脇：読書バリアフリー法、国の基本計画に基づき3点

文字、活字取得が難しい方

検討

岡田：発達障害 ディクレシア やっと入ってきた

教育委員会と協力して 読み書きに困難 推進してほしい

期待している

瀧：ほかは

樋口：フリガナを振る要件 どう決められているか

福祉計画 概要版

読みやすい配慮 計画によって違う？

大脇：フリガナ振る振らない 明確な基準がない

読書バリアフリー計画 なんでもかんでもルビ 見づらい方も

検討中 本文はルビ無し

障害 点字、音声版つくる ルビあり版も作ろうか

概要版はルビありにしようか検討中

鍛冶：73 ページ

大学を含めたことを想定しているのか

大脇：名古屋市行政計画 市の教育委員会所管のところ
大学は書いていない
将来的 関連機関との連携 大学を含む 75 ページ

瀧：ほかは
次の議題 報告事項 差別解消推進条例一部改正
15：28

障害企画課 水沢：障害者差別解消推進条例改正と
職員対応要領一部改正
97 ページ 令和 6 年 4 月 1 日改正
整合を図るため条例改正
努力義務→義務
10 条削除
11 月定例会提案 4 月 1 日施行
名古屋城バリアフリー 来年度以降 条例改正を考えている
市職員対応要領改正 99 ページ
市職員全員に配布し周知する予定
来年度以降も改正を行う予定

瀧：報告事項 意見を
よいか
意見なし
市民討論会検証委員会

15：34
スポーツ市民局人権施策水澤
：検証委員会
資料 6 人権の観点から問題整理・原因探求検討
市民の信頼回復
8/30 10/6 11/20
ホームページに載せている
公開できる資料は公開している 読み上げも
市の対応 全庁周知

15：37
瀧：質問は

入谷：終了時期は未定

委員会が立ち上がったから、ゴールがなかなか見えてこない
どうして、どうなって、どう 「質の向上」しきりにいつている
意識 障害理解 含めて変わっていかないと、質の向上にたどり着けない
委員会 何がどうなっているか さっぱりわからない
ホームページ 結果が書いてある？
どういうふうに行っているのか 説明して

瀧：説明を

担当：事務局対応している

公開できることは公開
検証そのものは非公開
まとめ次第公開
どんな検証がなされているかわからない
一生懸命検証している

入谷：委員 スケジュールもある

スピード感だと思う もっと早く進めないと、
言われた側 傷ついている
やっただけにしないで

瀧：ご意見としてうかがうていいか

濱田：傍聴者として参加した

すぐに退席 何しに来たのか 資料だけは頂いた
最終的にはどうなるか
こうなると発表？
ほかになにかあるか 意見を言えるのか

担当：検証して評価したもの 提言が発表される
それを受けて、市としてさらに検討して進める

濱田：差別解消委員会で意見を求められるのか

障害企画課 榊原：最終的なゴール 説明した

それを受けてどうするか 議論するにあたって、差別解消委員会でご議論いただく

濱田：検証委員会がゴールではなく、一緒に考えていけるということですね

瀧：次の課題 2026 アジアパラ競技大会

総務局アジアパラかけい：10/3 締結報道

県、市、アジアパラ委員会、日本パラ委員会、組織委員会

会期 2026/10/18-10/24

瑞穂公園競技場 3600-4000 人

市の施策とは直接結びつかない

付属文書 C 実施競技

開催まで 2 年 10 か月 杭州大会終わった

県内 フラッグツアー

いろいろ目にさせていただく機会があると思う

15:46

瀧：質問は

岡田：競技紹介 18 名古屋市内は

かけい：10 陸上、ボッチャ、ブラインドフットボール、
柔道、パワーリフティング、水泳、テコンドー、
車いすバスケット、車いすフェンシング、車いすテニス

牛田：宿泊について選手村やめた それはそれはいい
ホテルのめどがあったのか
車いす 880-950 人 観戦する人も含めてどのくらい想定
実際泊まれるのか めちゃくちゃ不安

かけい：選手村 アジア大会、アジアパラ大会
選手村しない、ホテル
具体的には組織委員会で検討
ご心配はもっとも
巨大な大会 選手村がないのはない
組織委員会と連携しながら考えたい

瀧：ほかは

池山：関心度が低い 周知することが必要
障害者がスポーツ 娘関心がある
皆さんの関心あるような周知を

かけい：関心、周知 まだまだできていない
杭州大会 1年延期 3年切った段階
東京オリパラ 直前に盛り上がった
直前ではなくみんなに知ってもらう 楽しさを知ってもらいたい
イベント 1000日前
いろんな各区民祭り ブース イベントとタイアップ
広報媒体 PRしたい
皆様にもこういった大会あると伝えたい
我々も機運を盛り上げたい 大会成功、パラスポーツの普及を図りたい

入谷：アジパラ 個人的にスポーツ大好き
愛知名古屋で大きな大会 楽しみ
杭州に行ってきた 街がパラで盛り上がった
見た目 会場ガラガラ 子ども、地域の人が集まってきた
応援感じた 銅メダル
駅から会場まで 地元選出写真 何々通り
スロープ 楽しいような あと何センチ
工夫をして、盛り上げて
杭州 陸上競技 ボランティア 大学生が言葉は通じないが親切
笑顔がよかった
委員会 私たちも盛り上げていきたい
団体、事務所の方 選手の応援に行ければ
すごく応援が選手にとって心強い
名古屋市だけが周知より、私たちもアジアパラと一緒に盛り上げる
一緒に日本を応援しよう

瀧：ほかは

樋口：楽しみましようの後に暗い話
濱田委員から、期間 小学生、地域 広げられないか
事案 差別発言

職員 スライドを追加した
職員がバリアフリーマナー研修 大会を終えたころには
みんながバリアフリーに関するレベルが上がる
レガシーとして残るような
資料研修だけではなく、UD 研修、実地研修

瀧：1つだけ意見

別の市基本計画委員 視点が抜けている

「県から聞いていない」

周辺で盛り上げていく 名古屋市だけでなく隣接する市も社会参加
ぜひ働きかけをしながら

時間数分だけ

配布資料の説明

15:58

障害企画課企画課長みやち：机上配布資料

本日より令和6年度予算要求内容公開

障害福祉関係予算抜粋

2点 1頁 ナゴヤあいサポート事業

2ページ バリアフリー整備相談支援事業

その他も見て

瀧：これは案 質問は受けない

事務局に問い合わせを

以上で今日の議題終わり

活発なご議論ありがとうございます

課題が多いが、取り組んでいただくような形で

ご協力感謝

大脇：多岐にわたりありがとうございます

本日説明した、各計画 12月下旬-1月 パブコメ

いろいろ検討 パブコメ始まる前でもよいので意見を

パブコメとあわせて対応する

3回目 3月開催予定 また連絡する

ありがとう

16:01